

CGVIEW バージョン 1.3.2 への改良内容

EGS5 研究会で発見されたバグや要望に対応する修正を以下のように行った。

- ・ 体系データ作成時に物質番号が未入力だとエラーになる不具合を修正。メッセージを表示し 0 に置き換える。
- ・ 体系データ作成時に領域番号は Z から開始する必要があるので Z 以外の場合はエラーメッセージを表示するように変更。
- ・ 体系データ作成時に形状定義に矛盾が生じた場合(半径がマイナス等)はエラーメッセージを表示するように変更。
- ・ Linux 版で RedHat8 より後のディストリビューションでは X システムがメモリを消費し続けハングアップするエラーを修正。
- ・ Linux 版で RedHat8 より後のディストリビューションでは画面サイズの変更に対応できないため、起動時に画面サイズを指定できるように変更した。

指定する場合は以下のように指定する。

```
[ ] ./cgview_ -size_640_480
```

_ は空白。-size の後ろに横幅、高さの順にピクセル数で指定する。